

【第3次越谷市地域福祉計画】

令和3年度 進捗状況報告書

令和4年(2022年)7月

越谷市 地域共生推進課

目 次

1 進捗状況報告書について.....	- 1 -
(1) 趣 旨.....	- 1 -
(2) 計画の体系.....	- 1 -
(3) 評価の対象.....	- 2 -
(4) 評価方法.....	- 2 -
2 進捗状況について.....	- 3 -
(1) 重点事業.....	- 3 -
重点事業1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上.....	- 3 -
重点事業2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出.....	- 4 -
重点事業3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築.....	- 6 -
(2) 評価指標.....	- 8 -
基本目標1 市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します..	- 9 -
基本目標2 適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します..	- 11 -
基本目標3 一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくれます-	14 -
3 令和3年度の総括について.....	- 16 -

1 進捗状況報告書について

(1) 趣 旨

本報告書は、本市の地域福祉の基本理念である「すべての市民が生涯にわたり、すこやかに、いきいきと、人間らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちを実現する」の下、将来像の「地域の新たな支え合い～いきいきと暮らせる福祉のまち 越谷～」の実現に向け、各種施策を推進している第3次越谷市地域福祉計画（以下、「本計画」という。）の進捗状況を管理し、本計画に対する評価を行うことを目的としています。

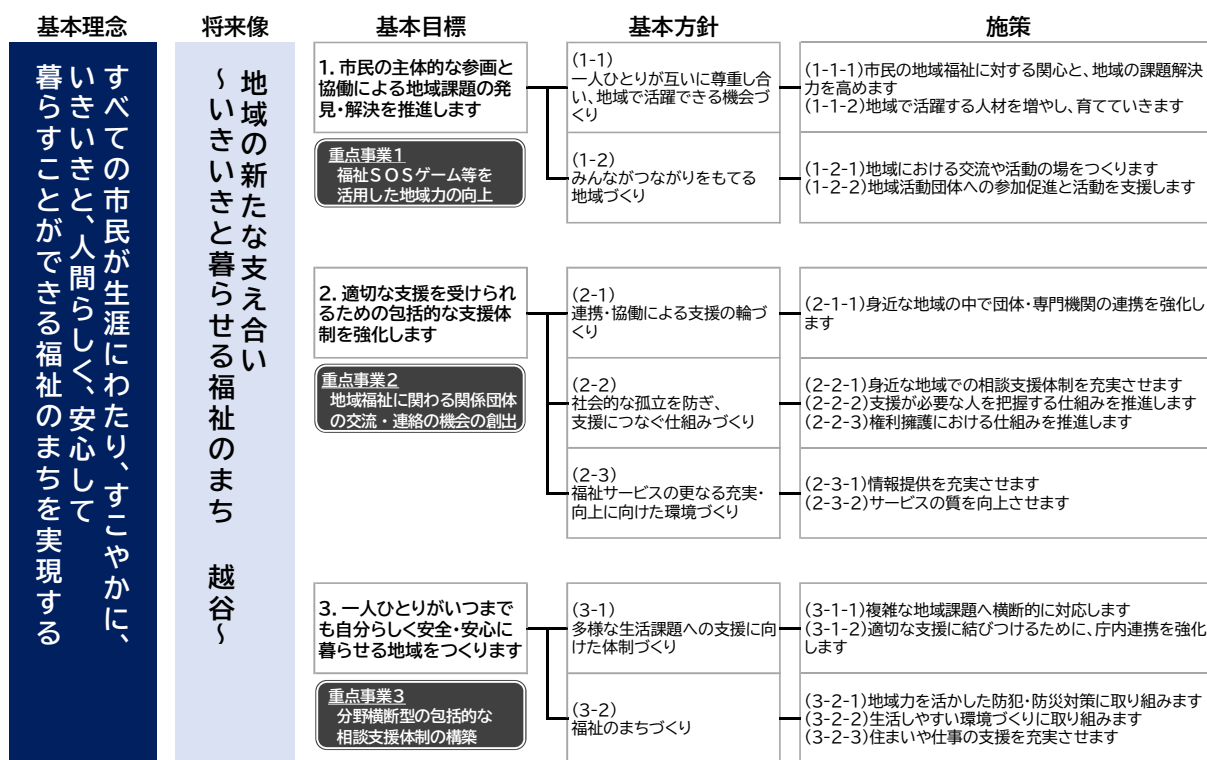
(2) 計画の体系

本計画は、将来像の実現に向けて、3つの基本目標と、7つの基本方針、15の施策を体系的に定め、それらに関連する事業を推進することとしています。

そして、地域共生社会の実現に向けて、基本目標ごとに代表する事業を「重点事業」として位置付けています。

さらには、本計画を着実に実行していくため、市の最上位計画である第5次越谷市総合振興計画と連動した「評価指標」を施策ごとに設定するとともに、各施策に関連する事業を「主な取り組み」として表示し、それぞれの進捗状況を把握することで、本計画の評価を行います。

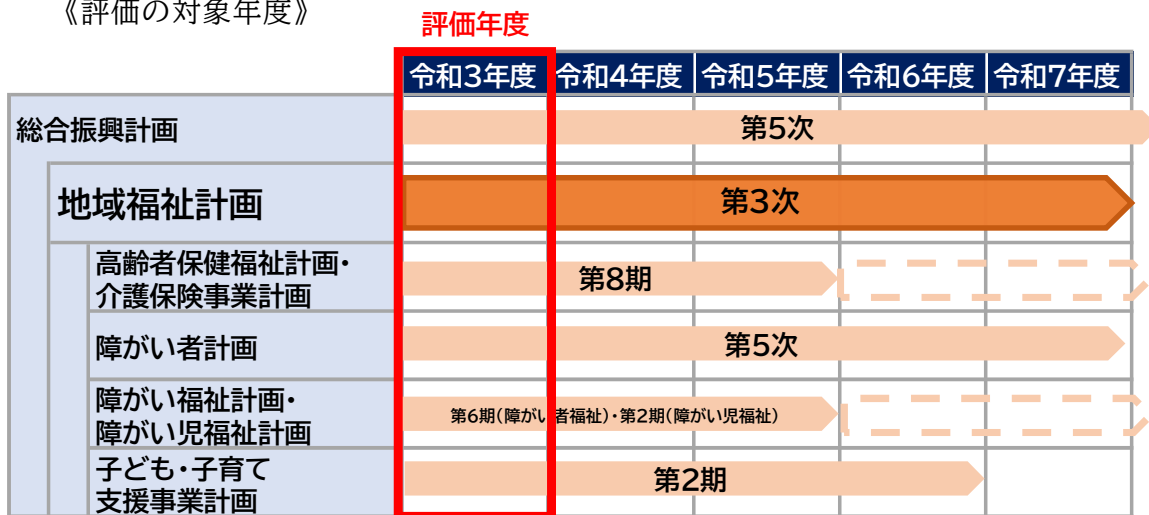
《計画の体系》



(3) 評価の対象

本報告書では、令和3年度における取組を対象に評価を行います。

《評価の対象年度》



(4) 評価方法

本報告書では、以下①②の進捗状況を踏まえて、計画全体を総合的に評価します。

① 重点事業（実施状況の把握）

基本目標ごとの重点事業における令和3年度の実施状況を把握し、今後の取組を掲載します。

② 評価指標（定量評価）

評価指標における当該年度の進捗状況を基に、施策レベルの評価を行います。

《評価指標における評価の基準》

令和3年度の実績の進捗状況に応じて、以下の記号を表示します。

進捗状況	説明
	計画を上回り推移している。 (目標達成を含む)
	計画通りに推移している。
	計画を下回り推移している。

2 進捗状況について

(1) 重点事業

重点事業1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上

身近な地域の問題を「自分ごと」として捉える意識を育むことを目指して…

福祉課題への対応策についてグループワークを行う「福祉 SOS ゲーム」を地域で実施し、地域の福祉資源や課題の共有と、助け合いの意識醸成を図ります。

【評価指標】

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗状況
地区版福祉SOSゲームの研修会 実施件数	0件	累計1件	累計50件	

◎ 令和3年度の取組み

地区版福祉SOSゲームを活用した、地域住民向けのグループワーク型研修会を、1回開催した。

本計画では、年間10回の開催を目標としているが、本事業は対面型を基本としていることから、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の開催にとどまった。

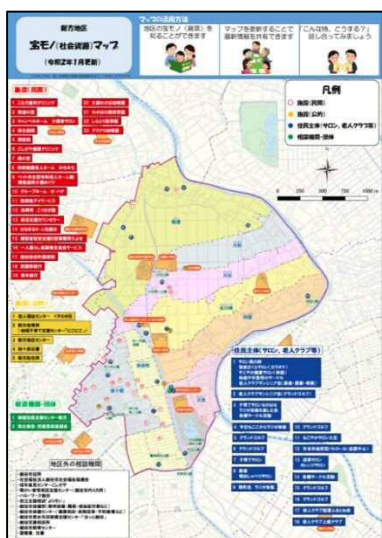
一方で、地域福祉啓発チラシを全戸配布し、自助・互助の活動の大切さについて周知・啓発に努めるなど、次年度以降につながる取組みを実施することができた。

令和4年度は、企業や大学等への働き掛けを行うなど、研修機会の拡充を図る。

【実施状況】

実施件数 1件 / 参加者数 15人

(宝モノ(社会資源)マップ)



《SOS ゲームイメージ》
マップとケースカードを使い、支援方法の共有や地域の福祉資源を学ぶ

(ケースカード)

世帯主 からの相談		No.
世帯構成		
世帯主	川柳 哲夫	相談内容 妻は認知症で、最近夜遅くに徘徊するようになった。近所でトラブルを頻繁に起こしている。
男性	73 歳 無職	
妻	カワ マチ子 川柳 ハナ	
女性	71 歳	
		歳

重点事業2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出

地域の中で、福祉のネットワークの輪が広がることを目指して…

地域福祉や相談支援等に関わる個人や団体・組織同士が連携を強化するため、交流・情報交換の場を設け、地域の状況や課題・解決策等を共有できる機会を創出します。

【評価指標】

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗状況
地域福祉に関わる関係団体の 交流・連絡の機会の創出	なし	設置 運用	設置 運用	

◎ 令和3年度の実績

地域福祉に関わる関係団体の交流を深めるための会議体を発足し、情報交換を行った。

令和3年度については、発足初年度だったため情報交換を中心に会議を開催したが、令和4年度以降は参加者の意見を聞きながら、より発展的に展開していきたい。

【会議の開催状況】

■ 会議設置に向けた準備会 1回開催

(開催日時) 令和3年10月5日(火) 14時～15時45分

(対象団体) 7団体(当日1団体欠席)

団体名	種別	分野
地域包括支援センター	行政(委託)	高齢者
障害者等相談支援事業所	行政(委託)	障害
生活自立相談よりそい	行政(委託)	生活困窮
ボランティア連絡会	ボランティア	ボランティア
国際交流協会 ※欠席	ボランティア	多文化
子育てサポーター チャオ	NPO	子育て
社会福祉協議会	社会福祉法人	福祉全般

(内 容)

第3次越谷市地域福祉計画、交流・連絡会の概要を説明し、会の発足に向け、参加いただきたい分野、団体、個人について意見交換を行った。

■ **地域福祉に関わる関係団体 交流・連絡会** 1回開催

(開催日時) 令和4年2月16日(水) 14時～16時30分

(対象団体) 9団体(当日1団体欠席)

団体名	種別	分野
地域包括支援センター	行政(委託)	高齢者
障害者等相談支援事業所	行政(委託)	障害
生活自立相談よりそい	行政(委託)	生活困窮
ボランティア連絡会	ボランティア	ボランティア
国際交流協会 ※欠席	ボランティア	多文化
子育てサポーター チャオ	NPO	子育て
社会福祉協議会	社会福祉法人	地域福祉
民生委員・児童委員協議会	ボランティア	地域福祉
埼玉フードパントリーネットワーク	NPO	児童福祉、生活困窮

(内 容)

各団体の活動内容を報告するとともに、今後の会で取り扱う内容等についての情報交換を行った。



交流・連絡会 当日の様子

重点事業3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築

越谷市全体での包括的相談支援体制の充実を目指して…

高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などに対する分野ごとの相談支援体制では、対応が困難で課題が複合化・複雑化しているケース、制度の狭間にあるケースなどに対し、対応策について庁内で検討できる「庁内連携会議」を用いて課題解決を目指します。

【評価指標】

事業名	現状値 (R 1)	実績値 (R 3)	目標値 (R 7)	進捗状況
庁内連携会議の設置・運用	なし	設置 運用	設置 運用	

◎ 令和3年度取り組み

「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」を令和3年8月に発足。方向性を定める課長級会議を2回、複雑・複合的な課題を抱えるケースを検討する副課長・主幹級の協議部会を3回開催した。

今後は、令和4年度から開始する重層的支援体制整備事業との連携を図り、協議部会は当該事業における支援対象者に対する支援プラン作成にかかる会議（重層的支援会議）と一体的に実施していく。また、課長級会議は、引き続き、全体的な方向性を定める場として運用していく。

【会議の開催状況】

■ 越谷市地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議 2回開催

構成課所（11課所）

地域共生推進課、地域包括ケア課、福祉総務課、生活福祉課、障害福祉課、子ども施策推進課、子ども福祉課、健康づくり推進課、保健総務課こころの健康支援室、くらし安心課、教育センター

第1回会議

（開催日時）令和3年8月2日（月）10時～10時45分

（内 容）

議題1 越谷市地域共生社会庁内連携会議の設置について

⇒会議の設置について了承される。

議題2 重層的支援体制整備事業について

⇒会議での意見を踏まえ事業を検討することとなる。

議題3 重層的支援体制整備事業にかかる財政措置について

⇒会議での意見を踏まえ内容を協議の上、決定することとなる。

議題4 その他（今後の予定）

⇒今後、詳細を協議部会で協議し、予算編成前に第2回連携会議を開催する方向性進めることとなる。

第2回会議

(開催日時) 令和3年10月20日(水) 14時～15時10分

(内 容)

議題1 協議部会におけるケース検討について

⇒以下のとおり決定される。

①を前提条件とし、②～⑤に該当する場合に協議部会で取り扱う。

- ① 3課所以上が関わらなければいけない複合的な課題を抱えたケース
- ② どこかがリーダーシップを取り、課題の整理を行った方が円滑に解決に向かうケース
- ③ ケースを担当すべき課が明確でないケース
- ④ 即時解決が難しく、継続的な関わりが必要なケース
- ⑤ 外部の関係団体やボランティア等の協力も必要なケース

議題2 重層的支援体制整備事業の実施体制について

⇒以下のとおり決定される。

- ・ 包括的相談支援事業、地域づくり事業は従前のとおり、各所管課で対応する。
- ・ 多機関協働、アウトリーチ、参加支援を社協へ委託し、社協にCSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)を配置する。

議題3 重層的支援体制整備事業の予算措置について

⇒以下のとおり決定される。

- ①各制度の交付金が「重層的支援体制整備事業交付金」に一本化
- ②介護保険特別会計に該当する事業も、一般会計で予算計上
- ③介護保険特別会計について、事業の財源のうち、保険料分のみ、歳入で計上するとともに、歳出で、当該金額を「一般会計への繰出金」として計上

《予算措置実施前後比較》

分野	実施前 補助金等	重層的実施後 補助金等
介護	地域支援事業交付金	重層的支援体制整備事業交付金
障害	地域生活支援事業費等補助金	
子育て	子ども・子育て支援交付金	
困窮	生活困窮者自立相談支援事業費国庫負担金 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	

※各分野の交付金等のうち、重層的支援体制整備事業に該当する事業分のみ「重層的支援体制整備事業交付金」に移行

議題4 その他(今後の予定)

⇒今後は、重層的支援体制整備事業について、社会福祉審議会地域福祉専門分科会での検討・事業計画の策定、作業部会でのケース検討、各相談支援機関や職員への説明会の実施等を進めていくことが決定される。

(2) 評価指標

【総括表】

目 標	計画以上	計画通り	計画より遅れ
目 標 1	0	0	4
目 標 2	3	2	2
目 標 3	4	0	2
合 計	7	2	8

基本目標1 市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します

基本方針1-1 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
1-1-1	★地区版福祉SOSゲームの研修会実施件数	0件	累計1件	累計50件	
1-1-2	認知症サポーター養成数	年間4,926人	年間2,596人	年間5,000人以上	

基本方針1-2 みんながつながりをもてる地域づくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
1-2-1	老人福祉センターの利用者数	年間29万5,360人	年間18万5,058人	年間30万人	
1-2-2	地域コミュニティ活動の新規・拡充事業数	年間17事業	年間16事業	年間20事業以上	

基本目標2 適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します

基本方針2-1 連携・協働による支援の輪づくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
2-1-1	地域包括支援ネットワーク協力事業所数	累計471カ所	累計507カ所	累計530カ所	
2-1-1	★地域福祉に関する関係団体の交流・連絡の機会の創出	なし	設置・運用	設置・運用	

基本方針2-2 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
2-2-1	地域包括支援センター設置数	累計11カ所	累計12カ所	累計13カ所	
2-2-2	民生委員・児童委員相談支援件数	年間9,740件	年間7,278件	年間1万件以上	
2-2-3	成年後見制度にかかる中核機関の設置数	なし	累計1カ所	累計1カ所	

基本方針2-3 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
2-3-1	地域包括支援センターを知っている人の割合	64.1%	調査実施なし (R4実施予定)	80%	
2-3-2	福祉施設・事業所への集団指導の出席状況	93.8%	64.0%	90%	

基本目標3 一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくります

基本方針3-1 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
3-1-1	自立相談支援事業により自立に向けた改善が見られた割合	87.9%	93.6%	90%	
3-1-1	子どもの学習・生活支援事業参加率	29.7%	27.5%	40%	
3-1-2	★庁内連携会議の設置・運用	なし	設置・運用	設置・運用	

基本方針3-2 福祉のまちづくり

施策番号	事業名	指標設定時点(R1末)	R3	目標値(R7)	進捗状況
3-2-1	自主防災組織のカバー率	90.7%	92.0%	92.5%	
3-2-2	公共交通の満足度	66%	63%	70%	
3-2-3	セーフティネット住宅登録戸数	累計1戸	累計2,062戸	累計420戸	

※ ★は重点事業。

【各施策の状況】

基本目標1 市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します**基本方針1-1 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり****◎施策1-1-1 市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題解決力を高めます**


事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
★地区版福祉SOSゲームの研修会実施件数	0件	累計1件	累計50件	

【取組状況】

地区版福祉SOSゲームを活用した、地域住民向けのグループワーク型研修会を、1回開催した。本計画では、年間10回の開催を目標としているが、本事業は対面型を基本としていることから、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の開催にとどまった。

一方で、地域福祉啓発チラシを全戸配布し、自助・互助の活動の大切さについて周知・啓発に努めるなど、次年度以降につながる取組みを実施することができた。

◎施策1-1-2 地域で活躍する人材を増やし、育てていきます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
認知症サポーター養成数	年間 4,926人	年間 2,596人	年間 5,000人以上	

【取組状況】


高齢化の進展とともに、認知症高齢者数が増加しており、介護者への負担軽減や周囲の理解が重要になってきている。そのため、認知症について地域社会の理解を深めることを目的として、「認知症サポーター養成講座」の開催や、地区健康教育で認知症についての講話を行った。

令和3年度は2,596人（うち小中学校にて2,079人）の認知症サポーターを養成した。令和2年度(2,299人)同様、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標数には達しなかった。


また、認知症サポーターを対象として、より深く実践的な知識を身につけボランティア活動につなげていくことを目的とした認知症サポータースキルアップ講座～入門編～及び～上級編～を開催した。

基本方針1-2 みんながつながりをもてる地域づくり

◎施策1-2-1 地域における交流や活動の場をつくります

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
老人福祉センターの利用者数	年間 29万5,360人	年間 18万5,058人	年間 30万人	
【取組状況】 老人福祉センター4館については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら主催事業を行うなど、適切な管理運営に努めた。ワクチン接種会場になった施設や、一部設備が利用休止となった施設もあったが、令和2年度よりも施設全体の開館数は増加したことから、利用者数は増加した。 《利用者数（4館合計）》 令和2年度：105,177人（開館日数656日） 令和3年度：185,058人（開館日数1,143日）				

◎施策1-2-2 地域活動団体への参加促進と活動を支援します

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
地域コミュニティ活動の新規・拡充事業数	年間 17事業	年間 16事業	年間 20事業以上	
【取組状況】 各地区のコミュニティ推進協議会に助成金を交付し、各種事業に対する支援を行った。 《助成事業件数》 全111件（まちづくり事業）				

基本目標2 適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します

基本方針2-1 連携・協働による支援の輪づくり

◎施策2-1-1 身近な地域の中で団体・専門機関の連携を強化します

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
地域包括支援ネットワーク協力事業所数	累計 471カ所	累計 507カ所	累計 530カ所	

【取組状況】

地域の住民・関係団体・事業所に御協力いただき、支援を必要とする方を早期に発見し、問題が深刻化する前に対応する「地域包括支援ネットワーク事業」を推進しており、令和3年度は、地域包括支援ネットワークの趣旨に賛同いただいた協力機関・団体からの情報提供により、支援を必要とする方の早期発見・早期対応に結びつけた。

関係団体等へのあいさつ回りなどは、前年度より減少となったが、2,144回の周知活動を行ったことにより、協力事業所数は累計で507カ所となった。

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
★地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の 機会の創出	なし	設置 運用	設置 運用	

【取組状況】

地域福祉に関わる関係団体の交流を深めるための会議体を発足し、情報交換を行った。

令和3年度については、発足初年度だったため情報交換を中心に会議を開催したが、令和4年度以降は参加者の意見を聞きながら、より発展的に展開していきたい。

基本方針2-2 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり

◎施策2-2-1 身近な地域での相談支援体制を充実させます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
地域包括支援センター設置数	累計 11カ所	累計 12カ所	累計 13カ所	


【取組状況】


地域における高齢者(65歳以上)の総合的な相談窓口である「地域包括支援センター」については、本市のコミュニティ区域である13地区すべてへの単独の設置に向け取り組んでいる。

現在、地区行政の中心である地区センター等への移設を進めており、令和3年度末時点で12カ所の設置を完了しているが、この取組については、地区センターの規模等も大きく関係してくることから、今後の地区センター整備の状況を踏まえながら、残り1カ所への設置を目指し取り組んでいく。

《これまでの経過》

設置時期	設置数	地区
平成18年(2006年)4月	9	桜井、新方・大沢(2地区担当)、増林、荻島・北越谷(2地区担当)、出羽、蒲生、川柳・大相模(2地区担当)、越ヶ谷、南越谷
平成19年(2007年)4月	10	大袋(せんげん台出張所をR2.10月に設置)
平成26年(2014年)10月	11	大沢
令和3年(2021年)1月	12	大相模(2地区を担当していた「川柳・大相模」から独立)

◎施策2-2-2 支援が必要な人を把握する仕組みを推進します				
事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
民生委員・児童委員相談支援件数	年間 9,740件	年間 7,278件	年間 1万件以上	
<p>【取組状況】</p> <p>民生委員・児童委員については、関係機関との協力体制を図りながら、地域住民への訪問活動等を行っている。</p> <p>これらの活動は基本的には対面によるため、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるが、引き続き、コロナ対策を講じながら地域住民への支援を行っていく。</p>				

◎施策2-2-3 権利擁護における仕組みを推進します				
事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
成年後見制度にかかる中核機関の設置数	なし	累計1カ所	累計1カ所	
<p>【取組状況】</p> <p>判断能力の不十分な高齢者、障がい者等の権利と財産を守る法的な支援制度として、成年後見制度が身近なものとして活用されるよう、制度の周知や利用啓発、個別相談への対応を行っている。</p> <p>令和3年10月からは、地域連携ネットワークの中核機関としての機能を成年後見センターこしがやに追加し、①専門職を加えたケース検討会議の開催（毎月開催）、②地域の関係専門職団体等とのネットワークを構築し連携を深めるとともに、成年後見制度の利用促進を図るため、地域の課題を検討、調整及び解決するための検討を行う協議会を設置した（令和4年2月に開催を予定したがコロナ禍により延期）。</p>				

基本方針2-3 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり

◎施策2-3-1 情報提供を充実させます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
地域包括支援センターを知っている人の割合	64.1%	調査実施なし (R4実施予定)	80%	→

【取組状況】

市内12カ所の地域包括支援センターに、担当地区の65歳以上の人口規模に合わせた職員配置を行い、介護予防ケアマネジメント、権利擁護等の情報提供や介護保険の代行申請等適切な支援を行った。また、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、地域の関係機関等の連携など、地域において多職種相互の協働により連携し、包括的・継続的に支援するとともに、地域における連携・協働の体制づくりや、個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

◎施策2-3-2 サービスの質を向上させます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
福祉施設・事業所への集団指導の出席状況	93.8%	64.0%	90%	↘

【取組状況】

適正な施設・事業運営、各種サービス等の質の確保及び費用請求の適正化を図るため、実地にて定期及び随時の指導監査を実施した。なお、講習等の方法で実施する指導については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料を市ホームページに掲載・周知する形式で行った。

基本目標3 一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくります

基本方針3-1 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり

◎施策3-1-1 複雑な地域課題へ横断的に対応します


事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
自立相談支援事業により自立に向けた改善が見られた割合	87.9%	93.6%	90%	

【取組状況】

生活困窮者の自立促進を図り、本人の状態に応じた包括的、かつ継続的な支援を行うため、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、子どもの学習・生活支援事業及び家計改善支援事業を実施した。

《令和3年度 支援状況》

- ①自立相談受付件数 1,070件
- ②住居確保給付金支給世帯 延べ199世帯
- ③子どもの学習教室参加件数(生活保護世帯含む) 82人(小学生7人、中学生44人、高校生等31人)
- ④家計改善支援開始件数 30件


事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
子どもの学習・生活支援事業参加率	29.7%	27.5%	40%	

【取組状況】

貧困の連鎖の防止を目的とし、生活困窮世帯・生活保護世帯の小学生(3年生～6年生)、中学生及び高校生等に対し、学習支援教室の開催、家庭訪問等による相談業務(子どもやその親が日常生活習慣を身につけることができる支援、進学に関する支援、中退防止)、子どもの就労意欲の喚起に関する支援を実施した。

- ・子どもの学習教室参加件数 82人(小学生7人、中学生44人、高校生等31人)

◎施策3-1-2 適切な支援に結びつけるために、庁内連携を強化します


事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
★庁内連携会議の設置・運用	なし	設置 運用	設置 運用	

【取組状況】


「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」を令和3年8月に発足。方向性を定める課長級会議を2回、複雑・複合的な課題を抱えるケースを検討する副課長・主幹級の協議部会を3回開催した。

基本方針3-2 福祉のまちづくり


◎施策3-2-1 地域力を活かした防犯・防災対策に取り組みます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
自主防災組織のカバー率	90.7%	92.0%	92.5%	
【取組状況】				
<p>市民の自主的な防災意識の普及及び高揚を図るため、自主防災組織設立届を提出した自治会に対して、防災備蓄倉庫の設置や資器材の購入、防災訓練活動に補助金を交付した。</p> <p>〔令和2年度〕146件 11,939,000円 〔令和3年度〕145件 13,697,000円</p> <p>大規模災害発生時には、消防関係機関の活動が著しく制限され、自主防災組織による避難誘導や消火活動等の防災活動が大変重要になるため、自主防災組織が結成されていない自治会に対しては、出張講座等で組織の必要性を説明した。</p> <p>〔令和2年度〕自主防災組織結成数 302/381自治会 〔令和3年度〕自主防災組織結成数 301/379自治会</p>				

◎施策3-2-2 生活しやすい環境づくりに取り組みます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
公共交通の満足度	66%	63%	70%	
【取組状況】				
<p>越谷市地域公共交通計画に基づき、こしがや公共交通ガイドマップを作成し、公共施設や民間施設へ配布することで、公共交通の利用促進を図った。</p> <p>また、高齢者の移動手段として、バスとタクシーの乗車に利用できる「越谷市高齢者バス・タクシー共通利用券」を配布し、地域公共交通の利用を促進した。</p>				

◎施策3-2-3 住まいや仕事の支援を充実させます

事業名	現状値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	進捗 状況
セーフティネット住宅登録戸数	累計 1戸	累計 2,062戸	累計 420戸	
【取組状況】				
<p>セーフティネット住宅の登録戸数を増加するため、市ホームページにより周知を行うとともに、民間団体と連携を図った。</p>				

3 令和3年度の総括について

令和3年度は、依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、それぞれの取組みの実情に応じた感染対策を徹底しながら、各種施策・事業を継続的に実施するための工夫に努め、第3次越谷市地域福祉計画に掲げた将来像の実現、各種目標の達成に向けた様々な取組みを進めてまいりました。

本計画の評価対象とした、3つの基本目標を代表する「重点事業」、施策ごとに設定した「評価指標」については、対面を基本とした会議・研修会の実施や施設利用に伴うものなど、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける施策・事業については、計画通りに進捗が図られなかったものがあった一方、対面によらない推進体制の整備やネットワークの構築等の新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けない、あるいは、感染対策を講じながらの実施が可能な取組みについては、一定の進捗が図られた施策・事業がありました。

最終的に、「重点事業」は3事業のうち2事業が目標を達成し、「評価指標」については、「計画通り」・「計画以上」となった指標が全17指標のうち9指標（52.9%）となり、計画全体としては一定の進捗が図られました。

令和4年度については、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、前進が図られた事業等については、さらなる充実に努めるとともに、前進が図られなかった事業等についても、令和3年度の取組みを踏まえた見直しを行うなど、福祉のまちづくりの推進に向け、効果的な施策を展開してまいります。

第3次越谷市地域福祉計画 進捗状況報告書(令和3年度)

令和4年(2022年)7月発行

発行 越谷市
編集 越谷市 地域共生部 地域共生推進課
〒343-8501
越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL: 048-963-9187